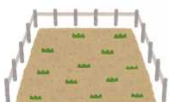




令和3年度決算の報告

令和3年度 各会計における決算額

会 計 名	歳入額	歳出額
 一 般 会 計	233億3857万1799円	222億1511万7667円
 国民健康保険特別会計	52億4999万7063円	50億2034万8570円
 後期高齢者医療特別会計	5億2366万2228円	5億2323万7028円
 介護保険特別会計	44億8778万6903円	42億9954万9222円
 土地取得特別会計	924万5879円	924万5879円
 農業集落排水事業特別会計	1344万128円	1158万1939円
 水 道 事 業 会 計	収益的 10億1020万381円 資本的 1億3280万4655円	収益的 9億7377万9716円 資本的 3億9017万3402円

・一般会計歳入歳出の決算概要

歳入 233億円 (単位 億円)

自主財源 95 (40.8%)

依存財源 138 (59.2%)

国庫支出金 34 (14.5%)

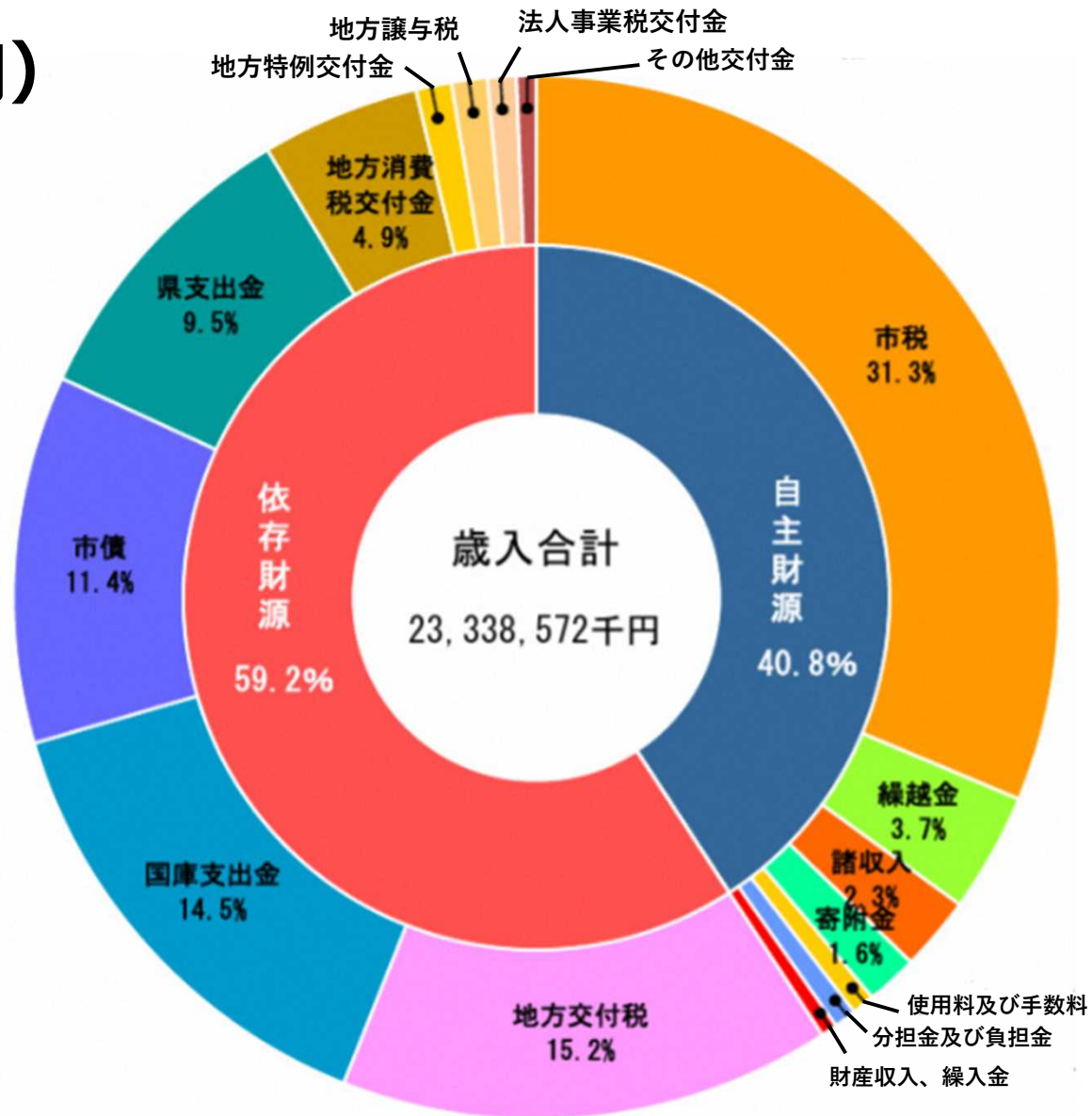
地方交付税 35 (15.2%)

市債 27 (11.4%)

県支出金 22 (9.5%)

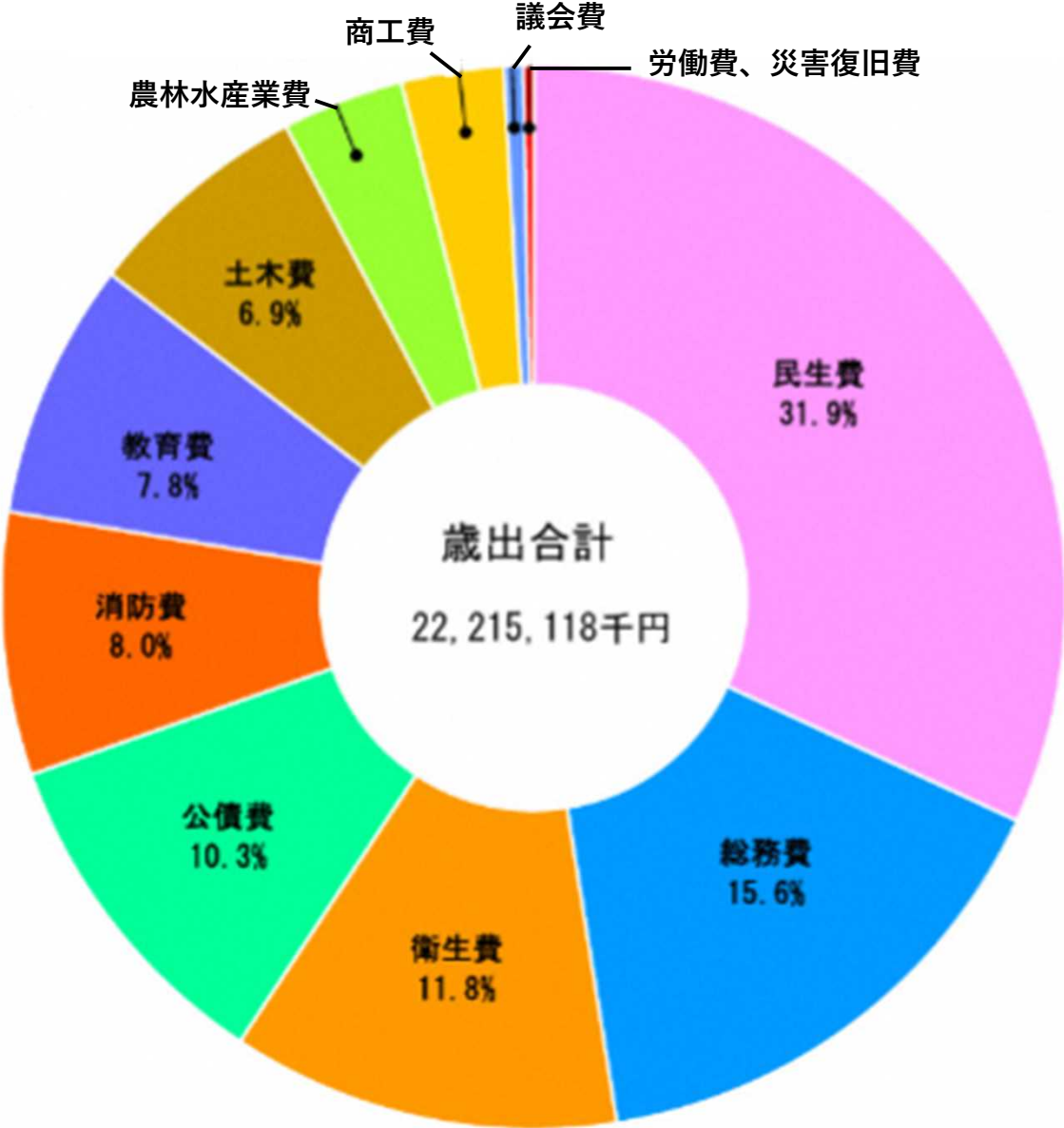
地方消費税 12 (4.9%)

その他 8 (3.7%)



歳出 222億円 (単位 億円)

民生費	71	(31.9%)
総務費	35	(15.6%)
衛生費	26	(11.8%)
公債費	23	(10.3%)
消防費	18	(8.0%)
教育費	17	(7.8%)
土木費	15	(6.9%)
農林水産業費	8	(3.6%)
商工費	7	(3.1%)
議会費	1	(0.6%)



市の財政状況

- コロナの影響で業績悪化、法人市民税 2億円減
- 新型コロナウイルス感染症経済対策による国からの補助金増加
地方交付税 35.9億円 （前年より9億円増）
- 令和3年度末発生したロシアのウクライナ侵攻から、石油、原材料高騰
による電気代、ガソリン代、食料品高騰（平均20%up）
- 国からの地方特例交付金 2.6億円
- 固定資産税 2億4千万円の減
- 市債は218億円となり合併以降最大
- 令和3年の実質公債費比率は 5.6% （合併以降最小値）

令和2年（前年）の歳入は290億円、歳出281億円



決算連合審査 での主な審査 内容は



一般会計及び特別会計の決算　すべてを 3日間にわたり審査

（質疑）（新拠点開発推進事業費）

I C北側高台開発プロジェクト 土地区画整理事業 補助金 2億円の 使途明細は、また、平成30年着工予定が 遅れている理由は

（答弁）

2億円の詳細は、測量調査など7項目

着工予定が4年遅れている理由は土地取得が完了していないこと

高台開発による経済効果は、初期投資における市内の経済波及効果が約300億円、完成後130億円見込む

（質疑）

静波海岸周辺地域まちづくり推進構想の詳細と進捗は

また委託事業者選定の理由は

（答弁）

構想は、静波の自然豊かな環境を活用していくという方向性に沿った民間企業の誘致を進めるとした内容である 業者は相良、地頭方などの沿岸部活性化などで関わりがあり選定した

（質疑）（デマンド乗合タクシー運営事業費）

デマンドタクシーの利用者が延べ約1,900人、実利用者が122人であり固定化しているが、実利用者を増やしていく取組は

（答弁）

令和3年度延べ利用者は1,827人

実際、会員登録された方が使っていることから、固定している傾向も見られる
継続的に地域のサロンなどに出向いて、デマンドタクシーの説明と会員を増やしたい

（質疑）（生活保護費）

生活保護受給者が8人減ったが、その内訳は
生活実態の確認は

（答弁）

新規が10人ほどいるが、収入が増加したり、亡くなったり等で18人減少し、結果8人の減少となっている。

受給者については、月1回の面談、連絡をしている 生活保護の実態については
その都度確認している。

（質疑）（企業立地推進事業費）
勝間田区に新たに立地した企業の概要は
企業誘致は大変重要、新たな企業誘致への取り組みは

（答弁）
3年度に立地した1件は、市外の会社で事業継続に向け内陸部に用地を探していたところ、
空き工場跡地があったので立地した
立地したいとの引き合いが年数件あるが希望面積の用地の確保が課題
現在、坂口工業団地の1区画あり調整中

※ 連合審査の質問は、50以上ありましたが、抜粋させて頂きました

令和3年度決算の報告

ご清聴ありがとうございました